

## 小野市 小中一貫教育の全体構想

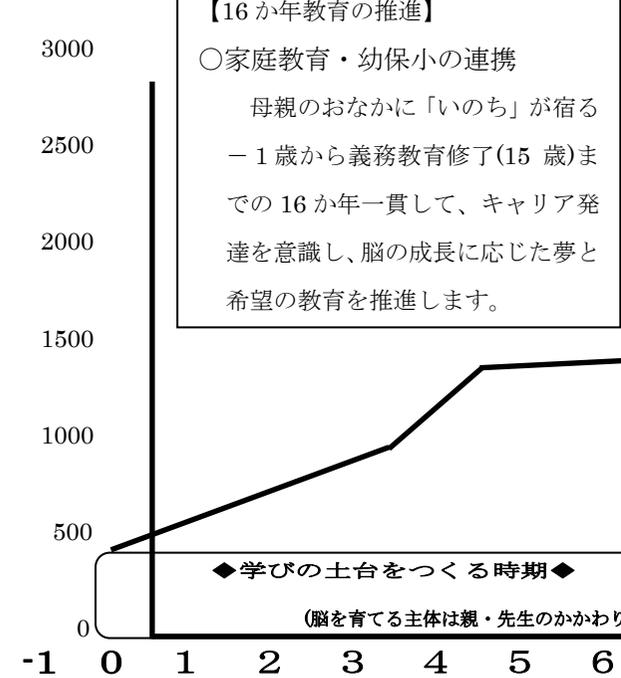
**【基本理念】**

○「夢と希望の教育」の推進  
 キャリア形成を意識し、地域に根ざした小中一貫教育を推進する。(キャリア教育を核に)

○「脳科学と教育」  
 脳の発達に応じた学びの工夫による小中一貫教育を推進する。  
 (教育行政顧問川島隆太教授の脳科学の知見を活かした取組)

	第Ⅰ期(4年) 1~4年	第Ⅱ期(3年) 5~7年	第Ⅲ期(2年) 8~9年
特徴 脳の発達上の特性	児童が「受容」的で、生活・学習の基礎を固める重要な時期。 「こどもの脳」	自立した考え方を始める時期。教科内容が難しくなり、心理的にも揺らぎやすい時期。	将来に対する目標をもち、夢と希望の実現へ向かう時期。 「おとなの脳」
学び	反復・定着による「できた」「わかった」達成感や「知りたい気持ち」「わくわく感」を重視。	具体的な思考から抽象的な思考へ。「知りたい気持ち」から主体的な問題学習へ。	目標意識(将来の夢や目標を強く意識)や知的好奇心(学ぶこと自体を楽しむ)を重視。
キャリア発達 (例示)	自分の思い、考えを伝えることができる。 自分や友達よさをとらえ、協力できる。 係や当番活動でみんなのために取り組む。 日常生活や学習と将来の生き方とつなぐ。 自分で課題解決しようとする事ができる。	話し合い等で、多様な考えを理解できる。 異年齢集団で役割と責任を果たす。 学びや体験を生活や職業と関連づける。 将来を考える大切さがわかる。 将来の夢を希望の実現へ努力しようとする。	自他のよさ・感情を理解し、尊重する。 チームを組んで支え合いながら仕事をする。 進路・職業の情報を多面的に集め検討する。 自己を生かす将来を現実的に考える。 将来設計実現へ課題解決に取り組む。

脳の神経細胞の大きさ  
( $\mu^3$ )



小中一貫(前期) 課程		小中一貫(後期) 課程	
小学校学習指導要領 ~アクティブ・ラーニングとヒューマン・マネジメント~		中学校学習指導要領	
「夢と希望の教育」 キャリア教育を核とした		自立した人づくり	
「地域の学校」として、学校・家庭・地域が一体となった教育			
入学式	1/2成人式 (節目を意識する行事)	修了・進級 立派式	
町たんけん	環境体験	自然学校	わくわく トライやる
		一日体験	(合同授業)
係活動	クラブ活動・児童会活動	部活動・生徒会活動・制服	
学級担任制(復習重視・単元テスト)	教科担任制(ベル着・予習復習・定期考査)		
	出前・乗入・小中T.T: 授業		
月2回 Enjoy English(ALT)週1回	外国語活動(ALT)	英語学習(一部ALT・検定)	
理数教育の充実(問題解決・科学的探究、知的好奇心、論理的思考・非連続テキスト)			
小中(小小)合同行事(遠足・外部講師授業等)・〈合同研修会・教師交流週間〉			
生徒指導の一貫性(校外・校内生活のきまり、スマホ・PC指導、いじめ・不登校等〈合同委員会〉)			
学びのスタイルの共有(「めあての共有」・児童生徒主役/学び合い(わくわく)・〈合同授業研究〉)			
学びの基礎づくり(「おの検定」・家庭学習の習慣化・ICT活用・特別支援教育の充実)い			
10歳の壁			

**【教育目標】(めざす人間像)**  
**国際社会の中で、たくましく活躍できる  
 心豊かで自立した人づくり**

◆重点研究◆

- 縦横の学びのつながり(発達に応じた系統性)を意識した効果的な一貫教育の具体的な実践研究
- 第Ⅱ期(5~7年)の効果的な教育方法・組織的指導体制の実践研究
- 縦割り活動や交流による社会性育成機能強化にかかる実践研究

※学校評価をはじめ、評価指標を明らかにし、PDCAサイクルを生かした継続研究を行う。